

# 事業費予算見積説明書

【事業名】 8533 長期借入金元金償還金	【事業概要】 これまでに借り入れた市債の元金を償還（返済）する。 《市債》 投資的事業（代表例は学校建設や道路整備等）などを行う際に、単年度では財源確保が難しいことや住民負担を世代間で公平化（施設を利用する全世代で負担）するために借り入れる市の長期借入金。	事業の種別	D	補助の別	単独	
		【根拠法令等】				
【事業予定期間】 継続	【事業目的】 過去に借り入れた市債の元金を償還する。	【補助（負担）金名】				
所属課 30 財 政 課		補助（負担）率	国	県	市	その他
令和 5年度 当初 会計 010 一 般 会 計 款 012 公 債 費 項 001 公 債 費 目 001 元 金	【現状、背景】 過去の投資事業に係る償還のピークを超えたことや、補償金免除による繰上償還が終了したことで、市債の元利償還額は平成20年度をピークに減少し、令和2年度以降は同程度の水準で推移する見込み。	全体事業費				
【今年度見直し内容】		【その他】 まちづくりプラン：5-（4）自立・持続可能な財政基盤の堅持	区 分	前年度予算額	本年度予算額	
	事業費		1,232,517	1,246,111		
		財 源 内 訳	国庫支出金	0	0	
			県支出金	0	0	
			地方債	0	0	
			その他	312,862	287,004	
			一般財源	919,655	959,107	
		補助基本額	0	0		

【歳出内訳】 (単位 千円)

節	前年度予算額	本年度予算額	比較	節	前年度予算額	本年度予算額	比較
01 報酬	0	0	0	16 公有財産購入費	0	0	0
02 給料	0	0	0	17 備品購入費	0	0	0
03 職員手当等	0	0	0	18 負担金補助及び	0	0	0
04 共済費	0	0	0	19 扶助費	0	0	0
05 災害補償費	0	0	0	20 貸付金	0	0	0
06 恩給及び退職年金	0	0	0	21 補償補填及び賠償	0	0	0
07 報償費	0	0	0	22 償還金利子及び割引料	1,232,517	1,246,111	13,594
08 旅費	0	0	0	23 投資及び出資金	0	0	0
09 交際費	0	0	0	24 積立金	0	0	0
10 需用費	0	0	0	25 寄付金	0	0	0
11 役務費	0	0	0	26 公課費	0	0	0
12 委託料	0	0	0	27 繰出金	0	0	0
13 使用料及び賃借	0	0	0	30 予備費	0	0	0
14 工事請負費	0	0	0	99 貸金	0	0	0
15 原材料費	0	0	0	計	1,232,517	1,246,111	13,594

【歳入内訳】

財源名称	款項目	節・細節・説明	明細番号	充当要求額	財源名称	款項目	節・細節・説明	明細番号	充当要求額
使用料	14 1 4	市営住宅使用料（現年	49	24,298					
使用料	14 1 6	水木しげる記念館入館	44						
繰入金	19 1 2	減債基金繰入金	295	250,000					
諸収入	21 3 1	元 金	6602						
諸収入	21 3 3	元 金	313	12,706					

# 事業費予算見積説明書

【事業名】 8535 長期借入金利子償還金	【事業概要】 市債とは、投資的事業（代表例は学校建設や道路整備等）などを行う際に、単年度では財源確保が難しいことや住民負担を世代間で公平化（施設を利用する全世代で負担）するために借り入れる市の長期借入金の中で、これまでに借り入れた市債の利子を償還（返済）する。	事業の種別	D	補助の別	単独	
		【根拠法令等】				
【事業予定期間】 継続	【事業目的】 過去に借り入れた市債の利子を償還する。	【補助（負担）金名】				
		補助（負担）率	国	県	市	その他
所属課 30 財 政 課	【現状、背景】 過去の投資事業に係る償還のピークを超えたことや、補償金免除による繰上償還が終了したことで、市債の元利償還額は平成20年度をピークに減少し、令和2年度以降は同程度の水準で推移する見込み。	全体事業費				
令和5年度 当初 会計 010 一般 会 計 款 012 公 債 費 項 001 公 債 費 目 002 利 子		区 分	前年度予算額	本年度予算額		
【今年度見直し内容】	【その他】 まちづくりプラン：5-（4）自立・持続可能な財政基盤の堅持	事業費	40,478	40,967		
		財源内訳				
		国庫支出金	0	0		
		県支出金	0	0		
		地方債	0	0		
		その他	1,039	1,419		
		一般財源	39,439	39,548		
		補助基本額	0	0		

【歳出内訳】 (単位 千円)

節	前年度予算額	本年度予算額	比較	節	前年度予算額	本年度予算額	比較
01 報酬	0	0	0	16 公有財産購入費	0	0	0
02 給料	0	0	0	17 備品購入費	0	0	0
03 職員手当等	0	0	0	18 負担金補助及び	0	0	0
04 共済費	0	0	0	19 扶助費	0	0	0
05 災害補償費	0	0	0	20 貸付金	0	0	0
06 恩給及び退職年金	0	0	0	21 補償補填及び賠償	0	0	0
07 報償費	0	0	0	22 償還金利子及び割引料	40,478	40,967	489
08 旅費	0	0	0	23 投資及び出資金	0	0	0
09 交際費	0	0	0	24 積立金	0	0	0
10 需用費	0	0	0	25 寄付金	0	0	0
11 役務費	0	0	0	26 公課費	0	0	0
12 委託料	0	0	0	27 繰出金	0	0	0
13 使用料及び賃借	0	0	0	30 予備費	0	0	0
14 工事請負費	0	0	0	99 貸金	0	0	0
15 原材料費	0	0	0	計	40,478	40,967	489

【歳入内訳】

財源名称	款項目	節・細節・説明	明細番号	充当要求額	財源名称	款項目	節・細節・説明	明細番号	充当要求額
使用料	14 1 4	市営住宅使用料（現年	49	1,419					
使用料	14 1 6	水木しげる記念館入館	44						
諸収入	21 3 1	利 子	6603						

# 事業費予算見積説明書

<b>【事業名】</b> 9350 一時借入金利子償還金（財政課）	<b>【事業概要】</b> 一時借入金とは、支払資金が一時的に不足した場合に借り入れる運転資金のことで、この借入金の借入と償還は、長期借入金と異なり単年度を条件に予算に計上せずに行えるが、その限度額は予算で定め、借り入れに伴い発生する利子の支払いは、公債費として予算計上する。	事業の種別	D	補助の別	単独	
		<b>【根拠法令等】</b>				
<b>【事業予定期間】</b>	<b>【事業目的】</b> 運転資金である一時借入金の一定期間の借入によって生じた利子を支払う。	<b>【補助（負担）金名】</b>				
		補助（負担）率	国	県	市	その他
所属課 30 財 政 課	<b>【現状、背景】</b> 出納室と連携して、日々の資金収支状況を精査し、利子の削減に努めている。	全体事業費				
令和 5年度 当初 会計 010 一 般 会 計 款 012 公 債 費 項 001 公 債 費 目 002 利 子		区 分	前年度予算額	本年度予算額		
<b>【今年度見直し内容】</b>	<b>【その他】</b> まちづくりプラン：5-（4）自立・持続可能な財政基盤の堅持	事業費	3,000	3,000		
		財源内訳	国庫支出金	0	0	
		県支出金	0	0		
		地方債	0	0		
		その他	0	0		
		一般財源	3,000	3,000		
		補助基本額	0	0		

【歳出内訳】 (単位 千円)

節	前年度予算額	本年度予算額	比較	節	前年度予算額	本年度予算額	比較
01 報酬	0	0	0	16 公有財産購入費	0	0	0
02 給料	0	0	0	17 備品購入費	0	0	0
03 職員手当等	0	0	0	18 負担金補助及び	0	0	0
04 共済費	0	0	0	19 扶助費	0	0	0
05 災害補償費	0	0	0	20 貸付金	0	0	0
06 恩給及び退職年金	0	0	0	21 補償補填及び賠償	0	0	0
07 報償費	0	0	0	22 償還金利子及び割引料	3,000	3,000	0
08 旅費	0	0	0	23 投資及び出資金	0	0	0
09 交際費	0	0	0	24 積立金	0	0	0
10 需用費	0	0	0	25 寄付金	0	0	0
11 役務費	0	0	0	26 公課費	0	0	0
12 委託料	0	0	0	27 繰出金	0	0	0
13 使用料及び賃借	0	0	0	30 予備費	0	0	0
14 工事請負費	0	0	0	99 貸金	0	0	0
15 原材料費	0	0	0	計	3,000	3,000	0

【歳入内訳】

財源名称	款項目	節・細節・説明	明細番号	充当要求額	財源名称	款項目	節・細節・説明	明細番号	充当要求額

# 事業費予算見積説明書

【事業名】 9985 一時借入金利子償還金（出納室）	【事業概要】 一時借入金とは、支払資金が一時的に不足した場合に借り入れる運転資金のことで、この借入金の借入と償還は、長期借入金と異なる単年度を条件に予算計上せずに行えるが、借入によって生じる利子については純粋な支出であり予算計上して支払うこととなる。	事業の種別	D	補助の別	単独	
		【根拠法令等】				
【事業予定期間】	【事業目的】 運転資金である一時借入金の一定期間の借入によって生じた利子を支払う。	【補助（負担）金名】				
所属課 1 出 納 室		補助（負担）率	国	県	市	その他
令和 5年度 当初 会計 010 一 般 会 計 款 012 公 債 費 項 001 公 債 費 目 002 利 子	【現状、背景】	全体事業費				
【今年度見直し内容】		財 源 内 訳	区 分	前年度予算額	本年度予算額	
	事業費		1,000	1,000		
	国庫支出金		0	0		
	県支出金		0	0		
	地方債		0	0		
	その他		0	0		
	一般財源	1,000	1,000			
	補助基本額	0	0			

【歳出内訳】 (単位 千円)

節	前年度予算額	本年度予算額	比較	節	前年度予算額	本年度予算額	比較
01 報酬	0	0	0	16 公有財産購入費	0	0	0
02 給料	0	0	0	17 備品購入費	0	0	0
03 職員手当等	0	0	0	18 負担金補助及び	0	0	0
04 共済費	0	0	0	19 扶助費	0	0	0
05 災害補償費	0	0	0	20 貸付金	0	0	0
06 恩給及び退職年金	0	0	0	21 補償補填及び賠償	0	0	0
07 報償費	0	0	0	22 償還金利子及び割引料	1,000	1,000	0
08 旅費	0	0	0	23 投資及び出資金	0	0	0
09 交際費	0	0	0	24 積立金	0	0	0
10 需用費	0	0	0	25 寄付金	0	0	0
11 役務費	0	0	0	26 公課費	0	0	0
12 委託料	0	0	0	27 繰出金	0	0	0
13 使用料及び賃借	0	0	0	30 予備費	0	0	0
14 工事請負費	0	0	0	99 貸金	0	0	0
15 原材料費	0	0	0	計	1,000	1,000	0

【歳入内訳】

財源名称	款項目	節・細節・説明	明細番号	充当要求額	財源名称	款項目	節・細節・説明	明細番号	充当要求額